



はばたきプラン

特集

「八潮の教育」合同報告会2020

～小中一貫教育ではばたく児童生徒～

令和3年2月16日に八潮メセナで、「八潮の教育」合同報告会2020を開催しました。これは、小中一貫教育を柱に進めている本市の教育実践を市民の皆さんに知っていただくため、毎年、この時期に実施しています。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から規模を大幅に縮小して開催しました。

1 八條北小学校の特色ある教育活動について

八條北小学校は、外国語活動・外国語科、少人数学習、小中合同運動会・体育祭、小中合同田植え体験、全校遠足など、外国語教育や体験活動などを重視した教育を実践しています。令和3年度からは、その特色や少人数ならではのきめ細かな指導を生かし、「小規模特認校」として教育活動を行っていきます。

✓ 小規模特認校制度

特色ある教育活動を展開する小規模校を教育委員会が小規模特認校として指定する制度です。児童生徒や保護者がこのような環境で学びたい、学ばせたいと希望し、入学の条件を満たした場合に、特別に市内全域から入学や転学などが認められます。

2 八條北小学校5年1組による外国語模擬授業

八條北小学校は、学校独自に「Hachikita style」を作成・活用し、子どもたちが主体的に学ぶ外国語の授業を行っています。報告会では5年1組が学校代表として、ステージ上で模擬授業を行いました。

担任の先生とALT（語学指導助手）、語学指導補助員との息の合った授業はテンポよく進められ、日々の授業の積み重ねにより、子どもたちが英語に慣れ親しみ、コミュニケーション能力が培われている様子を見ることができました。

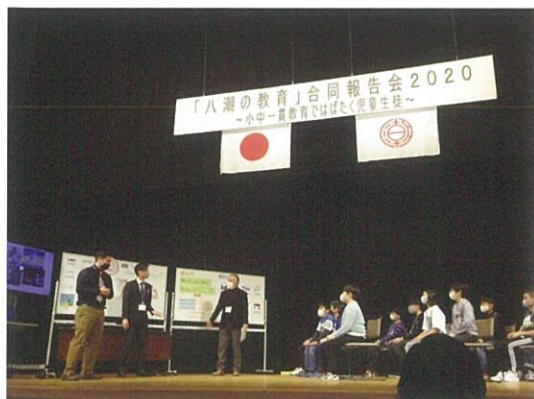


▲ Hachikita style

八條北小学校が独自で作成した外国語版の八潮スタンダード（目指すべき授業展開を示したモデル）です。外国語の授業で活用しています。

✓ 参観者の感想

- 英語教育の未来を感じた。
- 授業で使用されている語彙の多さに驚き、このような授業を受けてきた児童を受け入れる中学校として身の引き締まる思いである。生徒の「英語を使いたい」という意欲を喚起する授業を展開していきたい。



また、令和2年度に、八條北小学校は八條中学校とともに埼玉県教育委員会から「英語指導力改善事業研修協力校」の指定を受けました。2校は9年間の連続性・系統性を生かした外国語活動・外国語科の充実を目指して研究を重ね、その取り組みは本市の外国語教育のモデルとなっています。

小学校で学んだ英語をいかに中学校へつなげ、伸ばしていくことができるのか、今後も研究を進めてまいります。

3 潮止中ブロック公開授業研究会報告

<研究主題>

学力・体力の向上と豊かな心を育成する小中一貫教育の推進

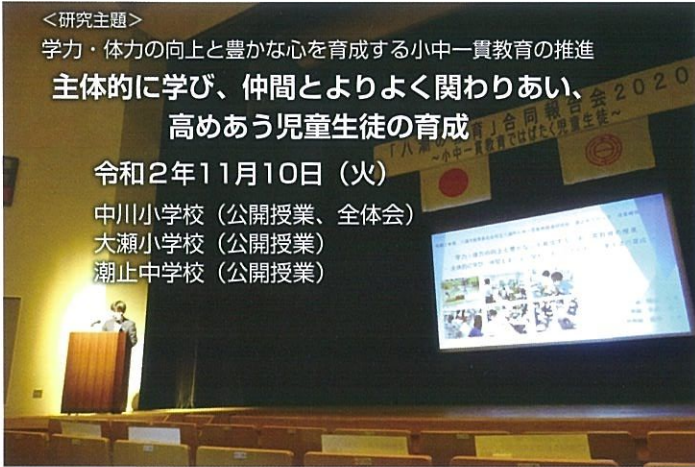
主体的に学び、仲間とよりよく関わりあい、
高めあう児童生徒の育成

令和2年11月10日（火）

中川小学校（公開授業、全体会）

大瀬小学校（公開授業）

潮止中学校（公開授業）



11月に行われた潮止中学校ブロック（中川小学校、大瀬小学校、潮止中学校）の公開授業研究会を振り返りながら、ブロックの取り組みや学校の具体的な授業実践について報告しました。

潮止中学校ブロックは、「八潮スタンダード」（目指すべき授業展開を示したモデル）を基にし、学習課題からまとめに向けて、考えを「つないでむすぶ」授業の実現を目指し研究を進めています。

これらを意識し授業を実践することで、児童生徒が考えを「つなぎ」、友達の考えに共感したり、自分の考えを修正したりしながら、まとめに「むすぶ」ことができるようになってきました。



◎八潮市

4 教育長講話「私が小中一貫教育の重要性に気づかされた話と言葉」



「こんなにも時代が変わり、社会も大きく変化しているのに義務教育の6・3制は変わらない。60年以上も…」 「中学生は小学生にとって、『あこがれ』の存在であってほしい」 「もうそろそろ本丸（授業改善）に入ってもいいんじゃないですか」等々。

平成18年度から本市が小中一貫教育に取り組んできた、これまでの歩みを振り返りながら、その中で様々な課題に直面した時に、石黒教育長が勇気づけられたり、決断したり、心を動かされたりした言葉や話など、実体験をもとに講話をしました。

教えて
こまちゃん!

**Q GIGAスクールで、
何が変わるの？**

すべての小中学生に1人1台端末と学校内のネットワークを一体的に整備するのがGIGAスクール構想だよ。八潮市でも令和3年度から市内全児童生徒に1人1台のタブレット端末を整備し、ICTを活用した教育活動が始まるんだ。

市では「八潮スタンダード」に「学習支援ソフト」を組み合わせ、学習活動を一層充実していくよ。具体的には、各自の考えを即座に友達と共有し、学びを深める学習ができる「協働学習ソフト」、一人ひとりのニーズや習熟度に応じた学習ができる「個別学習ソフト」を使って、段階的に学習していくよ。



「八潮スタンダード」×「1人1台端末」 授業活用例

教員
挿絵や写真などの視覚教材を活用し、児童生徒の興味・関心を高める導入をすることができます。

児童・生徒
自らの疑問について、パソコンを使って深く調べることができます。自分に合った進度で学習することができます。

教員
一人ひとりの考えをパソコンで一斉に見ることによって、短時間で多くの児童生徒にアドバイスができます。発言の少ない児童生徒の意見も大切にすることができます。

児童・生徒
複数の意見や考えを議論して整理し、考えを深めることができます。パソコンを活用した視覚的な発表ができ、理解が深まります。

児童・生徒
ドリルソフトを活用して問題を進めることができ、学習履歴機能により苦手な問題に取り組むことができます。

教員
正誤一覧機能により、習熟が遅い児童生徒に対して意図的な指導ができます。

